



# 生涯学習だより

## 安中市青少年センターの紹介

- Q1 青少年センターって、いつごろできたのですか？**  
昭和63年4月1日に発足し、今年で26年目を迎えます。
- Q2 青少年センターって、どこにあるのですか？**  
青少年センターは安中市教育委員会生涯学習課(松井田序舎)の中にあります。  
(☎027-393-4777直通)
- Q3 青少年センター補導員は何人ぐらいいるのですか？**  
109人が補導員となり、協力して活動しています。事務局は青少年センター所長を含めて5人のスタッフで対応しています。
- Q4 青少年センター補導員はどんな人がなっているのですか？**  
区長会(14人)、民生委員・児童委員会(9人)、子ども育成会(9人)、青少年育成推進員会(15人)、地域住民代表(8人)、保護司会(3人)、婦人会(2人)、更生保護女性会(6人)、企業代表(3人)、PTA(20人)、学校の先生(20人)
- Q5 青少年センターの活動のねらいは何ですか？**  
「あいさつの声かけ」や「子どもの安全確認」につながる活動を行い、「安全・安心のまちづくり」を目指しています。
- Q6 青少年センターはどんな活動をしているのですか？**  
主に次の4つの活動をしています。

①児童下校時の指導



69人の補導員が年間5回、各小学校の校門に立って下校指導を行っています。

②夜間パトロール



40人の補導員で、年間20回の夜間パトロールを行っています。

③広報車パトロール



児童の下校時に、広報車でパトロールを行っています。

④電話相談



不登校、ひきこもりなどの電話相談や面接を行っています。  
☎:393-4777(直通)  
曜日:月・火・水・金  
時間:午前9時~正午  
午後1時~2時

## 人権教育啓発映像をご活用ください

今年度、人権教育推進委員会で購入した人権教育映像(DVD)です。安中市図書館で貸し出しを行っています。ぜひご活用ください。

- あたたかい眼差しを～虐待から子どもを守る～(22分 DVD)一般向け  
近年、児童虐待が社会問題として注目されるようになり、児童相談所などで把握する要保護児童の数も急速に増えています。本作品では、児童虐待の増加原因や虐待から子どもの命を救うための方策などをケーススタディドラマや関係者の話などで探り、解決の方向性を示します。
- いじめと戦おう～私たちにできること～(21分 DVD)小学校中高学年向け  
連日いじめの報道が相次ぎ、全国的に子どもの命や尊厳を守るための取り組みが必要とされています。本DVDは、鑑賞した児童がいじめの、加害者・被害者・傍観者の立場を理解し、自分の身に当てはめて考える事ができるドラマ形式の作品です。

問合せ▶☎生涯学習課生涯学習係(☎内線2244)

平成24年度  
人権作品集「おもいやり」から  
自分らしく生きる

安中市立松井田東中学校  
3年 岩井佳奈子

(前号からの続き)相談すると自分とは違う新しい考え方が見つかり、気持ちが軽くなって頑張ろうと勇気が出てきます。相談できる家族や友達、先生がいる私は本当に幸せです。

主人公の悩みを知った担任の先生は生徒たちに紙を配ります。そして「紙に書いてある名前の人の良いところを書く」ように指示しました。主人公は自分宛の紙にはきつと何も書かれていないだろうと思いました。しかしそこには、「あなたは色々なことに一生懸命頑張っていて偉いと思います。これからも頑張ってください。」と書かれてあったのです。それを見て主人公は自分に自信が持て、自分らしく生きる勇気を持つことができたのです。

世の中には、誰にも相談できずに苦しんでいる人がたくさんいると思います。もしかしたら私のすぐそばにもいるかもしれません。私は悩んでいる友達に気付けてあげることができる人になりたいと思います。そして、その人の良いところを見つけて伝えてあげられる人になりたいと思います。(おわり)

問合せ▶☎生涯学習課生涯学習係

(☎内線2244)